

各 位

2019年12月13日

上場会社名 株式会社 ニッピ
 代 表 者 代表取締役社長 河村 桂作
 (コード番号 7932)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 井上 善之
 (TEL 03-3888-5117)

2020年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月15日に公表しました2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、第2四半期の業績動向を踏まえ、2020年3月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	550	500	350	121.68
実績(B)	21,973	1,090	1,055	748	260.25
増減額(B-A)	△26	540	555	398	
増減率(%)	△0.1	98.2	111.1	113.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	22,142	198	285	129	45.12

(第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異の理由)

売上高に関しましては、ほぼ計画通りに推移いたしました。

カラーゲン・ケーシング事業においては、国内需要の伸び悩みや海外市場での価格競争激化など引き続き厳しい状況にありますが、価格改定を順次進めております。また、生産が安定的に推移したことや製造費用の見直しを進めたことなどから製造原価が低減いたしました。

カラーゲンペプチドは、魚由来原料の需給ひっ迫により原料価格が高値で推移し製造原価が増加しておりますが、製品の価格改定を進めていることや牛由来原料の拡販などにより、収益は改善いたしました。

また、大阪市浪速区に所有する一部土地の再開発事業が決定し、埋蔵文化財の調査費用概算額を特別損失に計上いたしました。

以上のことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想値を上回り、第2四半期累計期間の連結業績予想と差異が生じました。

2020年3月期通期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	1,500	1,400	900	312.88
今回修正予想(B)	44,000	1,950	1,850	1,250	434.57
増減額(B-A)	△1,000	450	450	350	
増減率(%)	△2.2	30.0	32.1	38.9	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	43,651	831	843	172	59.84

(通期連結業績予想の修正理由)

通期の連結業績予想に関しましては、第2四半期累計期間の連結業績修正を主な修正理由とし、さらに今後の業績動向を踏まえ見直しました結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ修正いたします。

- * 上記の予想は、本資料発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後さまざまな要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以上